

2025年度

春入学

学生募集要項

尾道市立大学大学院(修士課程)

経済情報研究科

尾道市立大学

尾道市立大学大学院 経済情報研究科

教育理念・目的

経済情報研究科は、大きく分けて経済学・経営学・情報科学の3つの研究分野を持ち、学部教育を踏まえ、より高度な研究と教育を行うとともに国際的な視野のもと、経済学・経営学・情報科学の新しい発展並びに地域経済の要望を踏まえた教育と研究に取り組んでいます。更に、国際社会への貢献並びに教育・文化の国際交流の一層の促進のために優秀な留学生の受け入れを積極的に行います。

このような教育理念のもと経済情報研究科は、経済学・経営学・会計学・税務ほかの諸領域において活躍できる専門的職業人及び研究者、高度な情報科学の修得に基づき経済学・経営学・会計学・税務ほかの諸領域において活躍できる情報分野の専門的職業人及び研究者を養成することを目的としています。

1. 学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

経済情報研究科では、経済・経営・情報に関する高度な専門知識を持ち、国内外で活躍できる有為な専門的職業人及び研究者を養成することを目的としています。このことを踏まえ、所定修了単位の修得と、修士論文を提出し審査に合格することに加え、下記の要件を満たす学生に対して「修士（経済情報）」を授与します。

- ①経済学・経営学・情報科学に関する高度な専門知識や研究方法を修得している
- ②国際的な視野のもと、幅広い知見と高いレベルでの問題処理能力を発揮して、活動することができる
- ③社会の諸領域で高度職業人、専門的職業人、研究者として活躍できる能力を身につけている

2. 教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

経済情報研究科は、学位授与の方針に掲げる学修成果を達成できるように、次のように教育課程を編成し、実施します。

- ①専門科目において高度な知識・技能を身につけるための基礎力を養うため、経済系・経営系・情報科学系の3分野について、それぞれ2科目、合計6科目の基礎科目を配置します。
- ②企業・自治体・地域社会で組織の経営を担う高度職業人、税理士・公認会計士等の専門的職業人、研究者など、学生各人の将来設計に対応した高度で幅広い知識と技能の修得をはかるため、経済系・経営系・情報科学系の3分野について、総計20数科目に及ぶ専門科目を設置します。
- ③徹底した少人数教育と個別指導により、研究能力と論文作成能力を鍛え、創造性に富む修士論文を完成させるため、入学時から指導教員の個別最適な指導を受けることができるように1年次には「研究演習」を、指導教員の指導のもと、修士論文を作成するために2年次には「研究指導（論文指導）」を配置します。

3. 入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

経済情報研究科は、ディプロマ・ポリシーならびにカリキュラム・ポリシーにおいて具体化された教育理念・教育目標に基づき、以下のような人を求めています。

- ①学士課程教育において、専門的知識・技能と、日本語および外国語によるコミュニケーション能力とを高めることで、日本や世界の諸問題の解決に寄与する能力を身につけている人〔論文試験、面接試験（研究計画書を含む）、日本留学試験「日本語」〕
- ②学士課程教育において、経済・経営・情報の3分野に関する専門的知見を、人間・社会・自然に関する他分野の学問的知見と組み合わせることで、高度に情報化した現代経済社会の意味を探究する能力を身につけている人〔論文試験、面接試験（研究計画書を含む）〕
- ③学士課程教育において、経済・経営・情報の3分野に関する専門的知識および基礎的スキルを修得し、それらを活用して現代の経済社会を多面的に理解し、家庭・企業・地域等で活躍する能力を身につけている人〔論文試験、面接試験（研究計画書を含む）〕
- ④本研究科で学修することによって、官公庁や企業において経済・経営・情報分野の指導者、海外で活躍する国際公務員や公共団体・民間団体の国際交流担当職員、地域の活性化に貢献する地域社会の指導者、税理士や公認会計士、経済学・経営学・会計学・情報科学等の分野の研究者を目指す人〔論文試験、面接試験（研究計画書を含む）〕

※ [] 内は対応する入学者選抜における評価を示します。

目 次

I	経済情報研究科の概要	1
II	募集人員	1
III	出願資格	1
IV	出願手続	2
1	出願書類および入学検定料	2
2	出願方法	3
3	事前出願資格審査	3
4	障害等のある入学志願者との事前相談	4
5	出願に関するその他の事項	4
V	学力試験日および試験会場	5
VI	選抜の方法および学力試験時間割	6
VII	合格発表	6
VIII	入学手続	7
IX	大学院設置基準第14条に定める教育方法の特例の実施	8
X	長期履修制度	8
XI	授業科目と研究指導	9
XII	研究指導スケジュールと研究指導概要	11

I 経済情報研究科の概要

経済と企業活動のグローバル化、情報化社会の到来によって、学習しなければならない事柄の高度化、専門化、多岐化が進んできており、そのことが大学院教育に新しい課題を提供しています。大学院経済情報研究科（修士課程）は、経済・経営・情報の三分野の連携による高度な専門教育を提供し、併せて、地域企業の経営者・就業者、地域行政担当者および商業科教員等の社会人のためのリカレント教育や、情報処理能力に優れた人材の養成、税理士志望者の受け入れ等の要請にも応えることを目指しています。

学問的裏づけがあって、しかも実践的問題解決能力を備えた人材の育成が本研究科の教育のねらいです。

資格取得等に関しては、修士学位取得者に対する教職課程専修免許状（商業）と、税理士試験における「修士学位による試験科目免除」制度があります。いずれも科目履修等について一定の基準を満たさなくてはなりません。

II 募集人員

経済情報研究科（修士課程）入学生を次のように募集します。

研究科名	専攻名	募集人員	備考
経済情報研究科	経済情報専攻	8名	募集人員は、社会人および外国人留学生を含む。

※入学生の募集は、春入学試験（前期日程・後期日程）・秋入学試験の計3回行い、あわせて8名を募集人員とします。

III 出願資格

1 次の各号のいずれかに該当する者

- (1) 学校教育法（昭和22年法律第26号）第83条に定める大学を卒業した者および2025年3月卒業見込みの者
- (2) 学校教育法第104条第7項の規定により独立行政法人大学評価・学位授与機構から学士の学位を授与された者および短期大学または高等専門学校の専攻科を2025年3月までに修了見込みの者で、同年3月同学位を取得見込みの者
- (3) 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者および2025年3月までに修了見込みの者
- (4) 文部科学大臣の指定した者（昭和28年2月7日文部省告示第5号）
- (5) 本学大学院において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、入学時において22歳に達する者（事前出願資格審査対象 注を参照）
（短期大学、高等専門学校、専修学校、各種学校の卒業生その他の教育施設の修了者等）
- (6) その他本学大学院において、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者
（事前出願資格審査対象 注を参照）

2 出願における社会人の定義

- (1) 2025年3月31日現在において、大学卒業後2年以上経過している者および出願資格1の(4)に該当することとなった後2年以上経過している者
- (2) 現職教員（教諭一種免許状取得者または2年以上の経験を有する者）
- (3) その他本学大学院において、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、24歳に達した者（事前出願資格審査対象 注を参照）

3 外国人留学生の定義

日本国籍および日本における永住資格を有しない者で、次の各号のいずれかに該当する者

- (1) 出願資格1の(3)に該当する者で、独立行政法人日本学生支援機構が実施する日本留学試験において「日本語」を受験している者

- (2) 日本において外国人留学生として大学を卒業した者および2025年3月卒業見込みの者
 (3) その他本学大学院において、上記(1)、(2)と同等以上の学力があると認められた者(事前出願資格審査対象注を参照)

注) 出願資格1の(5)(6)、2の(3)、3の(3)に該当する者は、事前に出願資格の審査を行う必要がありますので、尾道市立大学大学院事務局に問い合わせてください(3ページ参照)。

事前出願資格審査の受付期間

前期日程 2024年 7月24日(水) から 7月31日(水) まで

後期日程 2024年12月 2日(月) から12月 9日(月) まで

IV 出願手続

1 出願書類および入学検定料

書類等の名称	提出該当者	摘 要
①入学試験志願票	全 員	本学所定の用紙に記入してください。裏面の履歴書も記入してください。
②受験票・写真票 (兼領収書)	全 員	本学所定の用紙に記入してください。受験票と写真票の写真は、必ず同じものにしてください。
③卒業(見込)証明書	出願資格1の(1) (3)(4)に該当する者	出身大学長または学部長が作成したものを提出してください。
④学位授与証明書	出願資格1の(2) に該当する者	大学評価・学位授与機構が作成したものを提出してください(欄外の注を参照)。
⑤成績証明書	全 員	出身大学(長)または学部(長)が作成し、厳封したものを提出してください。
⑥研究計画書	全 員	本学所定の用紙(様式1)に記入し、提出してください。1,500字程度(ただし社会人は3,000字程度)。
⑦日本留学試験「日本語」 の成績確認書	出願資格3の(1) に該当する者	日本留学試験の成績確認書を提出してください。
⑧住民票の写し等	外国人留学生	日本に在住する者は、市区町村発行の「住民票の写し」(在留資格、在留期間明記のもの)を、それ以外の者は旅券の写しを提出してください。 ※「住民票の写し」は市区町村窓口で交付された原本を提出してください。
⑨入学検定料 30,000円 (外国人留学生は、 15,000円)	全 員	郵便局で30,000円分の『普通為替証書』の発行を受け、入学試験志願票その他の提出書類と一緒に提出してください。なお、「受取人指定欄」および受取人の「ところ」、「名前印」の箇所には、何も記入しないでください。
⑩返信用封筒 (受験票等返送用)	全 員	本学所定の封筒に志願者の郵便番号・住所・氏名を明記し、定形25g+速達分の切手を貼ったもの。

注1) 出願資格1の(2)に該当する者のうち、既に学位を授与された者にあつては学位記の写し、授与見込みの者にあつては在籍する短期大学の専攻科または高等専門学校専攻科の修了見込証明書および学位を授与する予定である旨の短期大学長または高等専門学校長の証明書を提出してください。

2) 外国語で作成された書類には、必ず日本語訳を添付してください。

2 出願方法

出願は所定の出願用封筒を用い、「書留速達」扱いの郵便または直接持参により提出してください。
直接持参の場合の受付時間は、平日の午前9時から午後5時までとします。

(1) 願書受付期間および提出先

受付期間

前期日程 2024年 8月30日(金)～ 9月 6日(金) (必着)

後期日程 2025年 1月 6日(月)～ 1月14日(火) (必着)

提出先 〒722-8506

広島県尾道市久山田町1600番地2

尾道市立大学大学院 事務局

電話(0848)22-8311(代)

(0848)22-8381(直)

(2) 留意事項

- ① 出願手続きが完了した者の出願書類および入学検定料は返還できません。
- ② 社会人および現職教員等にあつては、入学手続きの際、就学許可書(様式3)を提出しなければなりません。
- ③ 出願書類に不備がある場合は、受理できません。
- ④ 出願手続きが完了した者へは、受験番号を記載した受験票を速達で送付します。受験票が届かない場合は、尾道市立大学大学院事務局へ問い合わせてください。

3 事前出願資格審査

出願資格1の(5)(6)、2の(3)、3の(3)に該当する者のみ必要です(1～2ページ参照)。

(1) 事前出願資格審査の内容

提出書類により審査を行います。

(2) 入学資格確認のための提出書類

- ① 入学試験志願票(本学所定用紙)
裏面の履歴書も記入してください。
- ② 入学試験資格審査申請書(様式2)
- ③ 最終卒業学校の卒業(見込)証明書と成績証明書
- ④ 学習歴の証明書(卒業(修了)証明書、成績証明書)
審査のため、高等学校卒業後のすべての学習歴(短期大学、専門学校等)の証明書
- ⑤ 実務・活動歴、資格等を証明する書類
勤務先の長が証明した、研究内容・従事期間が明記され、研究内容が客観的に判断できる証明等。種類、様式は任意です。

4 障害等のある入学志願者との事前相談

受験上特別な措置および修学上特別な配慮を必要とする者は、尾道市立大学大学院事務局へ出願の前に相談してください。

事前相談の期限	前期日程	2024年 8月 9日 (金) まで
	後期日程	2024年12月 2日 (月) まで

なお、相談の内容によっては対応に時間を要することもありますので、できるだけ早い時期に相談してください。

5 出願に関するその他の事項

(1) 出願について不明な点は、尾道市立大学大学院事務局に照会してください。

電話 (0848) 22-8311 (代)
(0848) 22-8381 (直)

(2) 募集要項を請求するときは、表に「経済情報研究科 大学院学生募集要項請求」と朱書きし、返信用封筒（角形2号、郵便番号・住所・氏名を明記し、定形外・規格内500g（速達の場合は+相当料金）分の切手を貼ったもの）を同封し、請求してください。

(3) 出願書類や入学手続に関して本学が知り得た個人情報および入学試験の成績や結果に関する個人情報は、「尾道市立大学における個人情報の取扱い及び管理に関する規程」に基づき適正な管理を行います。これらの個人情報は、入学者選抜業務のほか教育的な目的や学生生活に関連して利用する場合があります。

V 学力試験日および試験会場

試 験 日		試 験 会 場
前期日程	2024年 9月15日(日)	尾道市立大学
後期日程	2025年 2月 2日(日)	



尾道市立大学への交通

J R山陽本線尾道駅より

駅前バスターミナル (③番のりば) より「尾道市立大学」または「陽光台」行きバスで約20～40分、「尾道市立大学」下車。

J R山陽新幹線新尾道駅より

南口 (③番のりば) より「尾道市立大学」または「陽光台」行きバス約15分、「尾道市立大学」下車。タクシー利用で約10分。

自家用車で送迎の場合、尾道バイパス・平原IC経由が便利です。

Ⅵ 選抜の方法および学力試験時間割

論文試験、面接試験の結果および出願書類を総合して選考を行います。

集合時間	試験時間	検査内容	
10:30	10:40～12:00 (80分)	論文試験 (指導分野テスト)	原則として第一希望の研究指導教員が出題（出願時に希望研究指導教員名を入学試験志願票に記入すること）
	13:00～	面接試験	「研究計画書」を中心に試問

ただし、2025年3月に本学経済情報学部を卒業予定の学生のうち、2024年3月までに修得した卒業要件単位数が110単位以上で、かつその学業成績がGPA 2.8以上の志願者については、論文試験を免除し、志願者が作成した「研究計画書」（様式1）を中心にした面接試験で選考を行います。

受験上の注意事項

- ① 論文試験開始後は、30分以内の遅刻に限り受験を認めます。ただし、時間の延長は行いません。
- ② 「受験票」を忘れないように必ず持参してください。
- ③ 論文試験に使用を認めるものは、筆記用具（黒の鉛筆またはシャープペンシル）、消しゴム、鉛筆削り、時計（計時機能のみのも）に限ります。
- ④ 試験会場およびその付近に食堂はありませんので、必ず昼食を持参してください。

Ⅶ 合格発表

前期日程 2024年 9月20日（金） 午前10時

後期日程 2025年 2月 7日（金） 午前10時

大学の掲示板に合格者の受験番号を掲示するとともに、合格者には合格通知書を郵送します。ホームページ（<https://www.onomichi-u.ac.jp/>）による合格発表も行いますが、あくまで補助的な手段ですので、大学から郵送される合格通知書を必ず確認してください。

電話による合否の問い合わせには、一切応じません。

Ⅷ 入学手続

(1) 入学手続期間

前期日程 2024年 9月24日(火)～10月10日(木) 午後5時まで(必着)
後期日程 2025年 2月10日(月)～ 2月27日(木) 午後5時まで(必着)

(2) 入学手続の方法

- ① 合格通知書とともに送付する「入学手続要領」の説明を参照してください。
- ② 手続期間内に入学手続書類の提出と入学料の納入が行われることで、入学手続が完了します。
- ③ 入学料は合格通知書とともに送付する納付書に必要事項を記入し、手続期間内に最寄りの金融機関の窓口で振り込んでください。
- ④ 書類の提出は、郵送または直接持参によって行ってください。なお、直接持参の場合の受付時間は平日の午前9時から午後5時までとします。
- ⑤ 入学手続先 〒722-8506
広島県尾道市久山田町1600番地2
尾道市立大学大学院 事務局
電話(0848)22-8311(代)
(0848)22-8381(直)
- ⑥ 入学手続を完了した者には、入学手続期間終了後に、入学許可書を送付します。

(3) 入学手続時納付金

区分	入学料	対象
市内	282,000円	次のいずれかが尾道市内に、入学月の初日の1年以上前から引き続き住民登録をしている者 ・本人 ・本人の配偶者または1親等の親族
市外	423,000円	上記以外の者

注1) 外国人留学生の入学料は、市外の金額の $\frac{1}{2}$ に減額されます。

2) 入学料は前年度の金額です。

3) 本学学部生(卒業生を含む。)が入学する場合の入学手続時納付金については、上記入学料から282,000円を控除した額とします。

4) 経済情報研究科では、ノート型パソコンが必携となります。詳細は入学前にお知らせしますが、場合によっては新たに購入する必要があります。AIを研究テーマとしている場合は、指導を希望する教員に購入前に相談をして下さい。(前年度大学斡旋ノート型パソコンは14万円程度)

(4) 入学手続に必要な書類

- ① 誓約書
- ② 卒業証明書または修了証明書
入学手続時に卒業見込みまたは修了見込みの者は、2025年3月28日(金)までに提出してください。
- ③ 住民票の写し(尾道市役所または各支所の窓口で交付された原本)
入学手続時納付金の区分において、市内に該当する者のみ提出してください。
- ④ 就学許可書(様式3)
学校・官公庁・会社等に在職中の者のみ、提出してください。

(5) 入学手続上の注意事項

- ① 必要な手続を期間内に行わない場合には、本学への入学を辞退したものととして取扱います。
- ② いったん受理した入学手続書類および納付金は、いかなる理由があっても返還できません。
- ③ 入学手続を完了した後、入学を辞退する者は、入学辞退届（様式自由。辞退理由を明記の上、署名、捺印のこと）を尾道市立大学大学院事務局へ提出してください。

(6) 諸経費その他

入学後に必要となる経費

項 目	金 額	備 考
① 授 業 料	535,800円 [年 額]	4月、10月に分けて納入
② 学生教育研究 災害傷害保険料	2,430円 [2年分]	4月に納入
③ 後援会入会金	10,000円	4月に納入
④ 後 援 会 費	50,000円 [年 額]	

注1) 外国人留学生の授業料、後援会入会金、後援会費は上記の金額の $\frac{1}{2}$ に減額されます。

2) 以上は前年度の金額です。

Ⅹ 大学院設置基準第14条に定める教育方法の特例の実施

大学院設置基準第14条に定める教育方法の特例を実施します。特例が適用されるのは、社会人学生に限ります。この特例の適用については、本研究科に照会してください。

Ⅹ 長期履修制度

職業を有している者等を対象として、標準の修業年限を超えて一定の期間にわたり、計画的に教育課程を履修して課程を修了できる制度です。

この制度による授業料は、標準の修業年限分の授業料総額を計画的に履修することが認められた一定の期間の年数で分割して納めることができます。

なお、この制度の適用については、本研究科に照会してください。

XI 授業科目と研究指導

(2025年度 開講予定科目および担当予定教員)

授業科目の名称		担当教員	配当年次	開講学期		単 位	
				前期	後期	必修	選択
基礎科目	マクロ経済学特論	井本 伸	1・2	○			2
	ミクロ経済学特論	堀江 進也	1・2		○		2
	経営学特論	西村 剛	1・2	○			2
	財務会計特論	津村 怜花	1・2		○		2
	情報技術特論	木村・南郷	1・2	○			2
	経済情報数学特論	宮川 貴史	1・2		○		2
専 門 科 目	経済系	計量経済学特論	岡本 隼輔	1・2		○	2
		財政学特論	栗田 広暁	1・2	○		2
		金融システム特論	神崎 稔章	1・2		○	2
		国際経済学特論	阿部 顕三*	1・2	集中		2
		経済政策特論	大澤 俊一*	1・2		○	2
		地方財政特論	栗田 広暁	1・2		○	2
	経営系	地域経済論特論	荒井 貴史	1・2		○	2
		社会保障特論	佐藤 沙織	1・2		○	2
		経済学史特論	林 直樹	1・2		○	2
		日本経済史特論	森本 幾子	1・2	○		2
		貨幣経済学特論	河野 洋	1・2		○	2
		公共経済学特論	荒井 貴史	1・2	○		2
情報科学系	経営組織論特論	令和7年度着任予定	1・2	○		2	
	管理会計特論	令和7年度着任予定	1・2		○	2	
	簿記論特論	津村 怜花	1・2	○		2	
	国際経営特論	趙 怡純	1・2	○		2	
	租税論特論	前田 謙二	1・2	○		2	
	税務事例特論	前田 謙二	1・2		○	2	
	マーケティング特論	渡邊 久晃	1・2	○		2	
	企業法特論	王 佳子	1・2		○	2	
情報科学系	データベース特論	高山 毅	1・2	○		2	
	統計学特論	南郷 毅	1・2	○		2	
	情報管理特論	令和7年度着任予定	1・2	○		2	
	情報システム設計特論	有吉 勇介	1・2		○	2	
	情報ネットワーク特論	本田 治	1・2		○	2	
大規模情報活用特論	木村 文則	1・2		○	2		
研究演習Ⅰ		1・2	○	○	2		
研究演習Ⅱ	次ページ参照	1・2	○	○	2		
研究指導（論文指導）Ⅰ		2	○	○	2		
研究指導（論文指導）Ⅱ	次ページ参照	2	○	○	2		

注1) *印は兼任講師です。

注2) 集中は集中講義を意味します。

(2025年度 研究演習、研究指導(論文指導) 担当予定教員)

担当教員	研究演習	研究指導(論文指導)	研究分野
荒井 貴史	I・II	I・II	公共経済学
井本 伸	I・II	I・II	マクロ経済学
河野 洋	I・II		貨幣経済学
林 直樹	I・II	I・II	経済学史・社会思想史
堀江 進也	I・II	I・II	応用ミクロ計量経済学
森本 幾子	I・II	I・II	日本近世・近代の流通経済史
岡本 隼輔	I・II	I・II	環境経済学・計量経済学
神崎 稔章	I・II	I・II	金融論
佐藤 沙織	I・II	I・II	社会保障・社会政策
栗田 広暁	I・II	I・II	財政学
津村 怜花	I・II	I・II	簿記論・財務会計・会計史
西村 剛	I・II	I・II	経営学
前田 謙二	I・II	I・II	租税法
王 佳子	I・II	I・II	商事法
趙 怡純	I・II	I・II	国際経営
渡邊 久晃	I・II	I・II	消費者行動・マーケティング
有吉 勇介	I・II	I・II	情報システム設計・データ工学
高山 毅	I・II	I・II	データベース・観光情報学
南郷 毅	I・II	I・II	数学教育・情報教育
本田 治	I・II	I・II	情報ネットワーク
木村 文則	I・II	I・II	テキストマイニング・ビッグデータ
宮川 貴史	I・II		数学

(修了要件)

- ・基礎科目から3科目6単位、研究演習4単位、研究指導(論文指導)4単位 計14単位
 - ・基礎科目と研究演習の上記単位数を超えた代替分を含む選択科目から8科目 計16単位以上
- 合計 30単位以上

XII 研究指導スケジュールと研究指導概要

年次・時期	研究指導スケジュール	研究指導概要（指導教員を中心にその都度指導を行う）
1年次		
4月	新入生オリエンテーション (履修指導、学位論文執筆ガイダンス)	大学院での履修全般、修士論文執筆から提出までのスケジュールの説明を受ける。研究倫理についての指導を受ける。
	1年次履修科目の決定	研究指導教員と相談して、2年間の履修計画を決める。1年次履修科目を登録する。
	研究計画の作成	指導教員と相談して、研究計画を作成する。
4～8月	授業の受講、研究の遂行	指導教員を中心に研究指導を受ける。
	9月修了の2年生が行う修了発表会に参加	左記発表会に参加し、質疑応答を通して研究方法などを学ぶ。
9月	後期履修科目の確認と見直し	前期の履修を踏まえ、後期の履修科目を確認する。
10～1月	授業の受講、研究の遂行	修士論文作成に向けて研究を遂行する。
2月	3月修了の2年生が行う修了発表会に参加	左記発表会に参加し、質疑応答を通して研究方法などを学ぶ。
3月	研究成果の報告と研究計画の見直し	指導教員にこれまでの研究成果を報告し、研究テーマや内容の確認を行う。
2年次		
4月	在学生オリエンテーション	2年次の履修についての説明を受ける。修士論文執筆から提出までのスケジュールを確認する。研究倫理についての指導を受ける。
	2年次履修科目の決定	研究指導教員と相談して、2年次履修科目を登録する。
4～8月	授業の受講、研究の遂行	指導教員を中心に論文指導を受ける。また、ゼミ内での修士論文中間発表に参加する。
	9月修了の2年生が行う修了発表会に参加	左記発表会に参加し、質疑応答を通して研究方法などを学ぶ。
9月	後期履修科目の確認と見直し	これまでの単位修得状況を踏まえ、後期の履修科目を確認する。
10～1月	授業の受講、研究の遂行、学会大会参加	指導教員を中心に研究指導を受ける。機会があれば、国内外の学会などで研究成果を発表する。
	修士論文題目決定	指導教員と相談して、修士論文の題目を決定する。
	修士論文の執筆	修士論文完成に向けて執筆を行う。提出書式等の確認を行う。
1月	修士論文提出	その年度毎に決められた提出日（1月10日前後）までに修士論文を提出する。
2月	修士論文審査	主査1名（指導教員）、副査2名による修士論文審査を受ける。
	修士論文口頭試問	修士論文審査にあたった3名の教員による口頭試問を受ける。
	修了判定	
	修了発表会	学内で公開の修士論文発表会（修了発表会）を行う。
3月	学位（修士）の授与	

※2年間での修了のケースを示しています。

※上記は3月学位授与のケースであり、状況により内容及び時期等を変更する場合があります。

尾道市立大学大学院 事務局

〒722-8506 広島県尾道市久山田町1600番地2
TEL (0848) 22-8311 (代表)
(0848) 22-8381 (直通)
FAX (0848) 22-5460
<https://www.onomichi-u.ac.jp/>
(受付時間 平日 9:00~17:00)